

〈第15号〉 昭和59年度 自主憲法制定国民大会 大会直前号

定価 1部100円(送料別) 御希望部数お申し下さい。

昭和59年4月10日発行

●発行所 自主憲法制定国民会議

〒106 東京都港区六本木7-3-2

ラポール乃木坂103号室

電話(03)581-1192

郵便振替 東京6-22879

編集発行人 事務局 長 清原淳平

入会案内

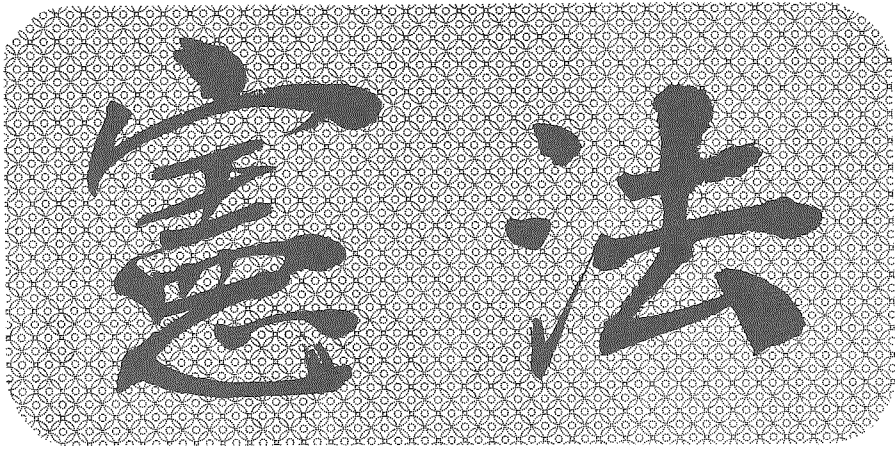
最近、改憲刷新の気運盛り上がりを反映してか、入会希望ないし問合せが多いので、下記に主たる要項を掲げる。詳細はそれぞれの会則による。下記いずれの会員(個人・団体)も改憲刷新を目指して活動すること。

◎自主憲法制定国民会議

A 団体会員 年会費 101万円 (口数は会員数等による) B 個人会員 年会費 103千円

◎自主憲法期成議員同盟

A 国会議員 年会費 2万4千円 B 前元議員 年会費 6千円 C 地方議員(前含)年会費 6千円



題字は岸信介元総理

改憲は戦後の総決算!

第十五回 国民大会開催!

自主憲法制定国民大会も、去る昭和四十四年に、第一回の国民大会を開いて以来、今年が区切りよく第十五回目を迎える。

この間、いろいろと消長もあつたが、中曽根内閣が誕生して、総理が「国政にタブーがあつてはならない。立法論として改憲論議をすることは、差し支

掲げた国家的課題は断固貫くべし

——三十二年の憲法問題情況と自主憲法の活動経過

中曽根総理の憲法発言 一昨年十一月、中曽根内閣が誕生した際の記者会見で、憲法問題につき総理は、自由、平和主義、基本的人権尊重、国際協調といった考えを織り込んだ現憲法の内容と歴史的役割を、高く評価する一方、「どんな法律、制度も完全なものはない。時代や国民思考の変化を踏まえ、見直しを必要があつて」として、「より良きものにするのが正しい態度である」と述べられた。

また、その後の国会答弁でも、「改憲には国民の同意が必要であり、現内閣では政治日程に乗せない」としながらも、「私個人は改憲論者であり、いまでも憲法は検討を要する部分がある」と思っている」とされ、また「国政にタブーがあつてはならない。憲法論議はさわつてはならないもの」といった印象を与えており、改正論をいとうと悪いものに触れたかのように入れられるのは残念だ。憲法論議はタブー視せず、より良きものならぬと心強いことであつて、前進させるため、改憲論、護憲論、他面、当団体では、それだ論とも堂々と、自由かつ達意に論議すべきだ。それを見て国民が判断すべきだ。それを見て国民が判断すべきだ。

「関係等が靖国神社に参拝することとは違憲の疑いあり」として、内閣法制局の見解を改め、「靖国神社参拝の合憲性」の論議を求め、この論議をめぐり、議員同盟では、度々打ち合わせを開いていた。また、この大阪での大会は、大阪府選出の自民党議員の全員が相乗りし、自民党大阪府連が後援した点でも、大きな前進であつた。



●本会の岸信介会長

その直後、政府筋から「靖国神社参拝の法的論議はよくわからなかつたが、靖国神社に戦没者が祀られるに至つた経緯と、靖国二十六日の自民党大会では、昨年神事が戦前より宗派を超えて国民と

えない」と事理を明らかにされたことにより、これまでの憲法論議に対する迷妄は打破された。近代諸外国においては、法治主義の精神から、法と現実に食い違ひがあると観ずれば、与野党とも進んで論議のテーブルにつく。日本も、頭から反対するのではなく、憲法問題を学ぶ姿勢が大切である。

運動方針に掲げられるに至つたことを、ここに報告する。世論づくりの講演会、研修会 われわれは以前より、政府・与党に対し、自民党の立憲の精神である「自主憲法制定」はもろろん国家の重要課題や政策は、選挙の時だけでなく、日ごろから各地で講演会・研修会を開いて、国民の理解を求めるべきである、と申し入れており、当会にたいも申し財源の中、折にふれ大小の講演会、研修会を企画してきた。

第十五回自主憲法制定国民大会

日時 昭和五十九年五月三日(憲法記念日) 午後一時三十分~同三時三十分 開場受付午後一時 開会一時三十分 会場 明治神宮会館(明治神宮境内) 主催 自主憲法制定国民会議 自主憲法期成議員同盟 入場無料

大会プログラム

- 一、国歌斉唱(一回) 国民文化研究会理事長 前アジア大学教授 小田村 寅二郎
二、開会の辞 自主憲法制定国民会議 岸 信介
三、会長挨拶 自主憲法期成議員同盟 清原 淳平
四、運動方針 自主憲法制定国民会議 事務局 長 清原 淳平
五、推進の言葉 自由民主党 村田 敬次郎
自由民主党 元総務副官 長 森 清
衆議院議員、元総務副官 長 木内 信胤
自由民主党国民運動本部長 森 清
衆議院議員 木内 信胤
元消防大学校長 荒川 吉太郎
世界経済調査会理事長 勝田 綾
文化人代表 伊藤 好子
経済人代表 藤田 光康
学術人代表 坂尾 光康
婦人代表 伊藤 好子
青年代表 藤田 光康

- 六、大会決議 佛所護念会 稲葉 修
七、記念講演 私の憲法改正意見 衆議院議員、自民党憲法調査会長 長 稲葉 修
八、閉会の辞 日本郷友連盟会長 廣 瀬 榮一
九、万歳三唱 明治神宮宮司 高 澤 信一郎

●会場案内

所在地 東京都渋谷区代々木神園町一 名称 明治神宮会館(乗用車は代々木口より) 交通 国電山手線原宿駅下車、または地下鉄千代田線 明治神宮前下車、徒歩いずれも七分程度 連絡先 〒一〇六 東京都港区六本木七-三-二 電話 (〇三)五八一-一九二番



記念講演 講師紹介 稲葉 修 先生

新潟県出身、明治四十二年生。おいては、文部大臣、そして三木 昭和十一年に中央大学独法科、同内閣では法務大臣を務められた。 大学院を卒業されて、大学に残ら 先生はまた、昔から憲法改正に 熱心で、すでに昭和四十一年には 自民党の憲法調査会長となられ 昭和二十四年、国政への志を抱 同四十七年には「憲法改正大綱草 案」(稲葉試案)を纏められた。本 案は一月、再度、憲法調査会長に就 任される。釣の名であり、大相 撲横綱審議委員会委員でもある。

憲法を改めて

時代を刷新する国民大会

昭和五十八年は、五月三日の東京での国民大会のほかに、十一月三日にも、大阪市中央公会堂にて「憲法を改めて、時代を刷新する国民大会」を開催した。

この大会は、年二回の大会ができたというばかりではなく、大阪府選出自民党国會議員全員が相乗りし、党大阪府連が後援した点で、大きな前進であった。

開会の辞

改憲に向けて 世論を盛りあげよう

古川 丈吉
(元衆議院議員、元自民党大阪府支部連合会会長)



本日は祝日でもありますが、かくも多数の代表がご参会をいただき、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。戦争が終りましてから、すでに三十年が経過してあります。かつて佐藤内閣総理大臣は、沖繩が返還されるまでは戦後終戦後ではないといわれ、沖繩返還に渾身の力をこめて、沖繩は返す参りでしたが、しかし、北方領土はまだ戦後はまだだつていないと申せましよう。

大会を大阪に迎えて 国の将来を誤らぬよう 憲法論議をつくせ

原田 憲
(衆議院議員、元運輸・郵政大臣、元自民党大阪府支部連合会会長)



さて、ポツダム宣言を受諾いたしました。戦争は終了いたしました。日本の占領政策を行つた。マッカーサー元帥はその基本政策として、新しく憲法を制定し、あわせて教育基本法もつくつたことは、皆様よくご承知の通りでございます。たしかに、手続の上ではわが国の議会の協賛を経ておりますけれども、制定・内容ともに占領軍の意志によって行われたもの

に基づき憲法を、独立国として正当な憲法をつくらねばなりません(拍手)。

しかし、憲法改正はこれに賛成する議員が、国会の三分の二はなければ成立しないのに、現在の自由民主党の議席数では不足であります。また、国民のなかには、憲法改正に反対する声も相当にあり、自由民主党議員のなかにも、選挙に不利であるというので、改憲に消極的な人もおられるわけです。このような議員に対しては、次の選挙では絶対に当選させないという意気込みで、国民の皆さんに頑張ってもらいたい。拍手。かまうに思いません。

以上のような趣旨で、本日は現行憲法にあるわけでございませう。つまり、憲法を改正しないかぎり、解決することはできません。深く感謝を申し上げます。戦争が終りましてから、すでに三十年が経過してあります。かつて佐藤内閣総理大臣は、沖繩が返還されるまでは戦後終戦後ではないといわれ、沖繩返還に渾身の力をこめて、沖繩は返す参りでしたが、しかし、北方領土はまだ戦後はまだだつていないと申せましよう。

さて、ポツダム宣言を受諾いたしました。戦争は終了いたしました。日本の占領政策を行つた。マッカーサー元帥はその基本政策として、新しく憲法を制定し、あわせて教育基本法もつくつたことは、皆様よくご承知の通りでございます。たしかに、手続の上ではわが国の議会の協賛を経ておりますけれども、制定・内容ともに占領軍の意志によって行われたもの

日本を裁くのに、ふたたび世界に戦争をもたらさないうために、正義を確立するために、東京裁判を行うのであると、いわゆる大義名分をふりかざしました。この裁判は戦勝国が戦敗国を裁くものであつて、天下の正義を求めたものでないかと強く主張されましたが、日本無罪論を唱えたのは、インドのパール博士だけでございませう。

戦後すでに四十年になつてしまつて、あの東京裁判の結果、世界の正義は確立された。戦争はなくなったか、日本は幸せになつて、国民の努力によって今日の繁栄を築き上げてきたか、裁いた側のアメリカやソビエトは鋭く対立し、世界の隅々には、いまだに砲火が絶えません。裁判そのものにも問題があつたわけですが、そうした背景のもとに生まれたのが、現在の憲法であるといふことも、あらためて銘記していただきたいと思つて、拍手。

でも、世論調査などは、この憲法があるから日本は平和でいられるのだと答える人が多いのはなぜですか、よくきかれることがあります。これは設問の仕方によって意図的にひき出された答で、あなたは、日本がなぜ平和でいられると思つておられますか。平和憲法があるからではあるまいか。平和憲法があるからではあるまいか。平和憲法があるからではあるまいか。平和憲法があるからではあるまいか。

役員名簿 敬称略

- 自主憲法期成議員同盟
昭五九・一・一八現在
- 会長 岸 信介(元総理大臣)
顧問(就任順、主たる経歴)
小島徹三(元法務大臣)
稲葉 修(元法務大臣)
池田清志(元大蔵政務次官)
植竹春彦(元郵政大臣)
福田赳夫(元総理大臣)
田中角栄(元総理大臣)
安井 謙(元参議院議長)
坊 秀男(元大蔵大臣)
滝尾弘吉(元参議院議長)
木村睦男(参議院議長)
副会長(就任順、主たる経歴)
町村金五(元自治大臣)
内田義雄(元外務大臣)
増田甲子七(各大臣歴任)
田中龍夫(元文部大臣)
二階堂進(前自民党幹事長)
田中六助(自民党幹事長)
細田吉藏(運輸大臣)
- 常任理事(就任順)
八木一朗(中尾栄一、岩動道行、吹田悦、大野明、木村剛輔、加藤六月、奥野誠亮、後藤田正晴、海部俊樹、板垣正、岩上二郎、古川丈吉、堀川正十郎)
- 理事(五十音順)
衆議院
石原慎太郎、伊藤淳一郎、稲垣真男、上原謙、崎野真澄、江藤隆雄、大塚雄司、大村襄治、越智伊平、小淵忠三、梶山静六、鹿野道彦、亀井静香、熊川次男、近藤元次、佐藤信二、左藤忠、佐藤守良、志賀節、住吉作、岡勝嗣、高橋辰夫、玉置和郎、玉沢徳一郎、中野四郎、橋本龍太郎、平沼昭太郎、船田元、水平豊彦、三塚博、村田敬次郎、武藤嘉文、森下元晴、森清、綿貫民輔、参議院
若木光政、上田稔、浦田勝、遠藤政夫、源田実、後藤正夫、中西一郎、林寛子、福岡日出麿、藤井裕久、前園會議員
麻生太郎、稲嶺一郎、越智通雄、金子三三、倉石忠雄、佐々木盛雄、戸沢政方、八田貞義、浜田尚友、保科善四郎、監事
福井勇、藤原節夫

自主憲法期成議員同盟(国会議員関係) 敬称略

都道府県	衆議院議員(県別五十音順)	参議院議員	地方区	全国区・比例代表区
北海道	上草 義輝	高橋 辰夫	中川 昭一	箕輪 登
青森県	竹内 黎一	田沢 吉郎	田名部匡省	津島 雄二
岩手県	玉藤 徳一	椎名 素夫	志賀 節	鈴木 善幸
宮城県	愛知 和男	伊藤宗一郎	内海 英男	長谷川 峻
秋田県	三塚 博	村岡 兼造	近藤 鉄雄	佐々木 満
山形県	佐々木 義武	鹿野 光晴	亀岡 高夫	安孫子藤吉
福島県	渡部 恒三	赤城 宗徳	小川 幸三	鈴木 省吾
茨城県	小淵 利幸	尾身 正行	額賀福志郎	岩上 二郎
栃木県	小淵 利幸	尾身 正行	額賀福志郎	岩上 二郎
群馬県	中曾根康弘	青木 正久	三ツ林 弥太郎	岩上 二郎
埼玉県	松永 正久	白井日出麿	中村正三郎	岩上 二郎
千葉県	石原慎太郎	大塚 雄司	中村正三郎	岩上 二郎
東京都	石原慎太郎	大塚 雄司	中村正三郎	岩上 二郎
神奈川県	小此木 修三	小泉純一郎	近藤 元次	岩上 二郎
新潟県	佐藤 隆	田中 角栄	村山 達雄	岩上 二郎
富山県	渡辺 秀央	野上 徹	綿貫 民輔	岩上 二郎
石川県	奥田 敬和	森 喜一	熊谷 公友	岩上 二郎
福井県	平泉 敬和	田邊 國男	中村 太郎	岩上 二郎
山梨県	金丸 信	羽田 孜	羽田 孜	岩上 二郎
長野県	唐沢俊二	古藤 嘉文	原田 元利	岩上 二郎
岐阜県	古藤 嘉文	原田 元利	原田 元利	岩上 二郎
静岡県	斎藤 滋与	原田 元利	原田 元利	岩上 二郎
愛知県	稲垣 実男	上村 千一郎	丹羽 兵助	岩上 二郎
三重県	海部 俊樹	中野 四郎	丹羽 兵助	岩上 二郎
滋賀県	川村 敬次郎	山下 元利	中山 正昭	岩上 二郎
京都府	宇野 宗佑	田村 元	中山 正昭	岩上 二郎
大阪府	野中 廣務	左藤 敏夫	谷 洋一	岩上 二郎
兵庫県	河本 敏夫	砂田 重民	谷 洋一	岩上 二郎
奈良県	原 健三郎	中西 啓介	二階 俊博	岩上 二郎
和歌山県	奥野 誠亮	玉置 和郎	二階 俊博	岩上 二郎
鳥取県	相沢 義雄	相沢 義雄	相沢 義雄	岩上 二郎
島根県	相沢 義雄	相沢 義雄	相沢 義雄	岩上 二郎
岡山県	大村 実治	加藤 六月	加藤 六月	岩上 二郎
広島県	藤井 静志	佐藤 正良	佐藤 正良	岩上 二郎
山口県	安倍晋太郎	高村 正彦	高村 正彦	岩上 二郎
徳島県	後藤田正晴	森下 元晴	森下 元晴	岩上 二郎
香川県	福家 俊一	藤本 孝雄	藤本 孝雄	岩上 二郎
愛媛県	西井 勇	森 清	森 清	岩上 二郎
高知県	大西 正男	古賀 誠	古賀 誠	岩上 二郎
福岡県	太田 誠一	山崎平八郎	山崎平八郎	岩上 二郎
佐賀県	愛野 仁吉	保利 耕輔	保利 耕輔	岩上 二郎
長崎県	北口 仁吉	松田 九郎	松田 九郎	岩上 二郎
熊本県	佐藤 文二	坂田 道太	坂田 道太	岩上 二郎
大分県	佐藤 文二	坂田 道太	坂田 道太	岩上 二郎
宮崎県	江藤 隆美	小原 隆	小原 隆	岩上 二郎
鹿児島県	有馬 元治	小里 貞利	小里 貞利	岩上 二郎
沖縄県	宮崎 幸昌	山崎武三郎	山崎武三郎	岩上 二郎

◎衆参現職国會議員総数 264名(昭和59年3月17日現在)。
◎前元国會議員数 105名

●推進の言葉

北方領土返還の実現を

中山 正 暉

(衆議院議員、元労働・厚生各政務次官、自民党大阪府支部連合会幹事長)



中山 正 暉

愛国の志に燃え、文化の日に... 中山正暉氏が北方領土返還の実現を訴える。

●閉会の辞

二十一世紀こそ改憲の世紀

左 藤 恵



左 藤 恵

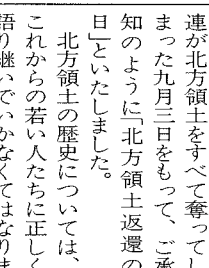
私は大阪府から国会に送って... 藤恵氏が二十一世紀こそ改憲の世紀を訴える。

●推進の言葉

スパイ防止法制定の必要

押 谷 富 三

(元衆議院議員、大阪府連合会、国民大会実行委員長)



押 谷 富 三

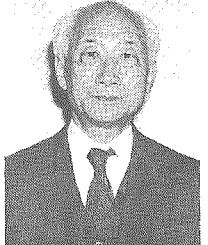
皆さんがよくご承知のように... 押谷富三氏がスパイ防止法の制定を訴える。

●愛知県民会議研修会・特別講演

自主憲法は どうあるべきか

三 渚 信 吾

(元高崎経済大学教授・理事長、憲法学会 会長)



三 渚 信 吾

自主憲法制定国民会議では、上掲のような春・秋の国民大会... 渚信吾氏が自主憲法について講演する。

●推進の言葉

自主憲法制定国民会議の主たる本部加盟団体一覧

団体名(五十音順) 代表者

- アジヤ国会議連合会 岸 信介
黄檗宗大本山萬福寺 村瀬 玄妙
改憲発議国民委員会 丸田 舜雄
学生青年純正同盟 大場 俊賢
国を思う会 松沢 啓陽
軍国連盟全国連合会 岡田 広
憲法の会 大石 義雄
国際勝共連合 久保木亮光
国士館大学 柴田 梵天
国民生活健全化協会 吉田 梵天
国民文化研究会 野田 卯一
小田村寅二郎 オイスカ・日運動
自由アジア協会 安倍 源基
浄土真宗浄光寺派 北岡 寿逸
新教育者連盟 藤野 旭浄
新日本協議会 奥田 寛
全国調査機関連盟 黒神 直久
全日本空手道連盟 武内 義雄
全日本宗教政治連盟 笹川 良一
総合文化協会 戸松 慶議
竹崎 親成

た、それを防ぐために考え出されたのが、この立憲政治という... 渚信吾氏が立憲政治について語る。

●推進の言葉

良書紹介 憲法改正の法理と手続

良書紹介 憲法改正の法理と手続

憲法改正の法理と手続 竹花光範著... 憲法改正の法理と手続について解説する。

た、それを防ぐために考え出されたのが、この立憲政治という... 渚信吾氏が立憲政治について語る。

●推進の言葉

良書紹介 憲法改正の法理と手続

良書紹介 憲法改正の法理と手続

憲法改正の法理と手続 竹花光範著... 憲法改正の法理と手続について解説する。

た、それを防ぐために考え出されたのが、この立憲政治という... 渚信吾氏が立憲政治について語る。

●推進の言葉

良書紹介 憲法改正の法理と手続

良書紹介 憲法改正の法理と手続

憲法改正の法理と手続 竹花光範著... 憲法改正の法理と手続について解説する。

た、それを防ぐために考え出されたのが、この立憲政治という... 渚信吾氏が立憲政治について語る。

●推進の言葉

良書紹介 憲法改正の法理と手続

良書紹介 憲法改正の法理と手続

憲法改正の法理と手続 竹花光範著... 憲法改正の法理と手続について解説する。

た、それを防ぐために考え出されたのが、この立憲政治という... 渚信吾氏が立憲政治について語る。